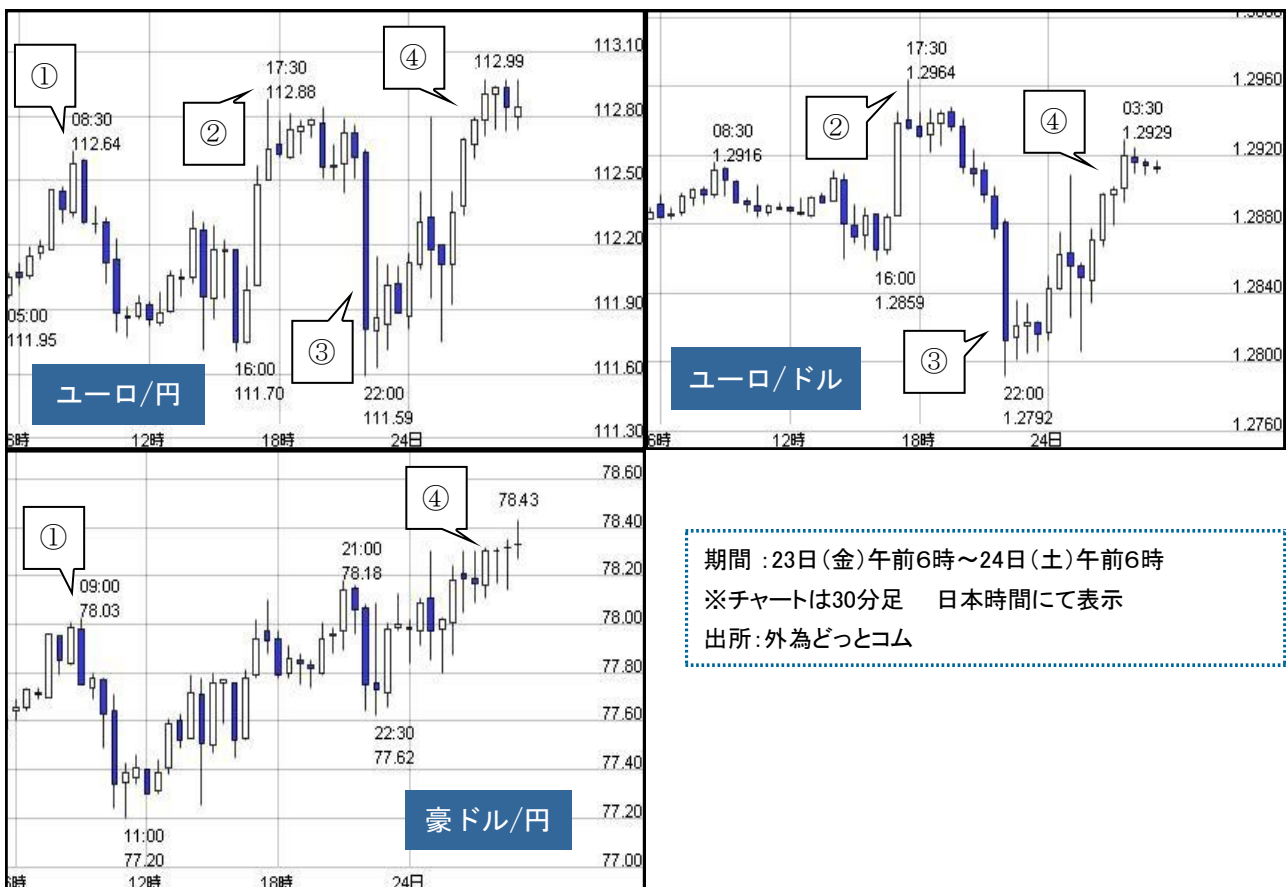


7月26日(月曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## ストレステスト後の欧州市場に注目

### 23日(金)の主な推移



期間 : 23日(金)午前6時~24日(土)午前6時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所 : 外為どっとコム

- ① 前日のNYダウ平均株価の大幅上昇を受けて日経平均株価が前日比150円超の上昇で寄りつくと、豪ドル/円は15日以来の78円台まで上昇した。しかし、欧州金融機関のストレステスト(健全性審査)の結果発表待ちのムードが強く、クロス円(ユーロ/円や豪ドル/円など)の上値は限られた。
- ② 独7月IFO景況指数が106.2と予想を上回るとユーロ買いが強まり、ユーロ/円は112.88円まで上昇。ユーロ/ドルは1.2964ドルの高値を付けた。
- ③ 欧州金融機関に対するストレステストについて「ソブリンデフォルト(国債の債務不履行)は想定していない」・「保有債券ではなく取引債券の損失に限定されている」と一部通信社が報じた事を受けて、想定シナリオが甘いとの見方が広がるとユーロ売りが優勢となり、ユーロ/円は111.59円、ユーロ/ドルは1.2792ドルの安値を付けた。
- ④ 日本時間午前1時に発表された欧州金融機関に対するストレステストは91行中7行が不合格となり、ほぼ事前の予想どおりの結果となった。重要なイベントを無事通過したとしてNYダウ平均株価が100ドル超上昇するとドルや円を売ってユーロや豪ドルを買う動きが強まった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2780-1.3030ドル  
 ユーロ/円 : 111.80-113.90円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.20-79.20円

23日に発表された欧州金融機関に対するストレステストは91行中7行のみが不合格とまずまず良好な結果となった。ただ、国債の債務不履行を想定していない事や、満期まで保有する予定の債券については損失を計上しないなど、想定シナリオの甘さを指摘する声も多く、急速なユーロの上昇とはなりそうにない。週明けの欧州株式市場の動向やギリシャやスペインといった高債務国の国債利回りにも注目される。(神田)

豪準備銀行(RBA)も注目する豪州の物価指標である第2四半期生産者物価指数が発表される。28日に発表予定の第2四半期消費者物価指数とあわせて、8月3日のRBA理事会での利上げもしくは金利据え置きの重要な判断材料となる。

その他、欧州のストレステストの結果を受けたユーロ相場の動向にも注目、想定シナリオの甘さを嫌気してユーロ売りが強まる場面があれば、リスク回避の動きによる豪ドル/円の下落の可能性もあり注意が必要であろう。(神田)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/26(月)	10:30	○	(豪) 第2四半期生産者物価指数 [前年比]	-0.1%	+1.5%
	23:00	○	(米) 6月新築住宅販売件数	30.0万件	31.1万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。